

未分化型の早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられた患者様へ

未分化型の早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）に関する多施設後ろ向き研究を実施しております。

この研究は「疫学研究に関する倫理指針」に従って、当院において早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられた患者様の治療成績や長期的な予後を調査する後ろ向き研究（これから行う研究ではなく、後から振り返ってみた研究）です。

目的 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は、従来内視鏡では切除できなかった広い範囲の癌が切除できるようになり、内視鏡治療の適応範囲が拡大していますが、未分化型の早期胃癌についても、日本国内においては、2020年より適応が拡大されました。ESDは日本で開発された治療で、世界的に十分普及しているとは言い難く、今回、欧米やアジアの多施設で、治療成績や長期的な予後を解析することにより、ESDの有効性についての詳細な検討を行いたいと考えています。検討結果は今後の診療に役立て、内視鏡治療の発展に貢献したいと考えています。

対象 2006年4月～2021年10月の期間に当院において、未分化型の早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられ、治癒切除が得られた患者様

方法 対象患者様の年齢、性別、病変の大きさ・形態・部位、一括切除の可否、治療時間、合併症（出血、穿孔等）の有無、病理検査の結果、術前の生検の組織検査結果、拡大内視鏡所見、治療後の再発の有無などについて、個人情報をも匿名化した上で、情報を集積し解析します。また、追加外科手術を行った症例では、リンパ節転移率を解析し、ESDを行った後の長期的な予後（再発がないか、生存されているかなど）を同様に調査します。データは主たる研究実施機関であるギリシアのMediterraneo Hospitalで解析され、学会発表や論文作成等に使用する予定です。

なお、本研究において、患者様の個人情報は保護され、新たな検査や費用が発生することはありません。研究参加を拒否されても、患者様が不利益を生じること是一切なく、今後の診療内容には全く影響を及ぼしません。

上記に該当すると思われる患者様のうち、本研究の内容について詳しく知りたい方や参加を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

連絡先：

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78

電話 06-6441-5451

JCHO 大阪病院 消化器内科 内視鏡センター長 山本克己